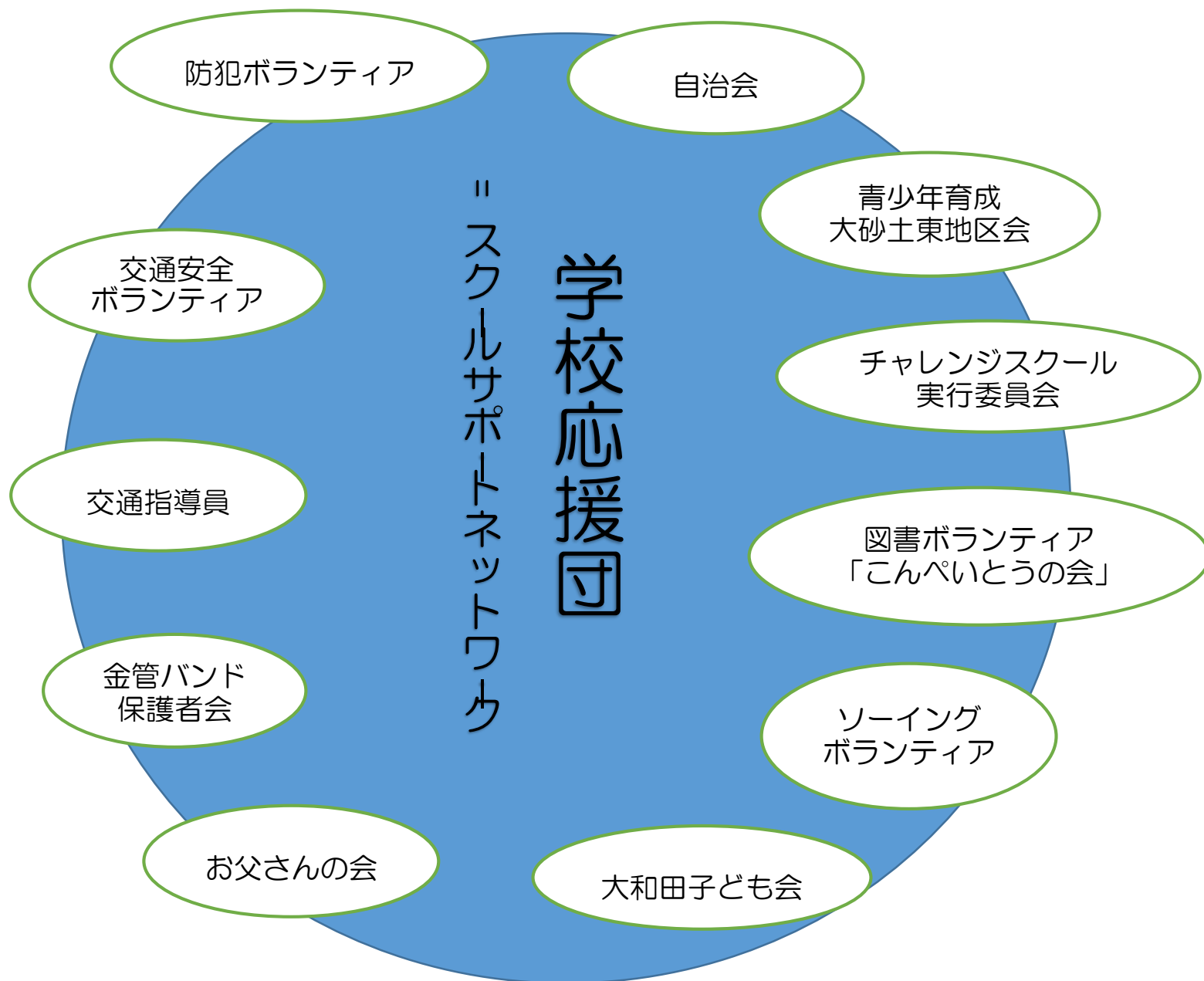


大砂土東小学校

学校応援団だより

発行 大砂土東小学校 学校応援団事務局

地域の輪を広げましょう



学校応援団とは

子どもの健やかな成長を願って学校を支援する活動を行っている地域及び保護者による団体が「大砂土東小学校応援団」の名の下に連携し、大砂土東小学校を応援しようという雰囲気を一層高め、子どもの学校生活を互いに交流を深めながら支援しているというものです。

大砂土東小の学校応援団の力は最高です

校長 杉山浩一郎

大砂土東小学校の校長として、1年半が経ちます。この間、学校は教職員だけで成り立っているのではないことを痛感しています。

各自治会・青少年育成大砂土東地区・民生児童委員の方々、チャレンジスクールの方々、PTA並びに防犯・図書・ソーイングボランティア等の皆様のお力添えがあり、児童が明るく元気に、そして、安全に生活できることと感謝申し上げます。

また、児童の登校時にあいさつ運動をしながら学区を回りますと、交通指導員及び交通安全活動地域協力者の皆様が、あたたかく児童の安全を見守ってくださることに感謝申し上げます。

今後も学校応援団の皆様の力強い応援をいただきながら、学校・家庭・地域が一体となった児童の育成に努めてまいります。地域に開かれた学校づくりを推進するにあたり、学校応援団の皆様には、それぞれのお立場から後押しをしていただければ幸いです。



防犯ボランティア

～あいさつに癒やされて～

緑色のベストに帽子をかぶって、毎日何名かで登校時と下校時に学校の門周辺で、児童の安全を見守っています。加えて不審者、危険物がないかも校庭見回りの時間に確認をしています。現在登録は40名弱。自治会やPTA関係、お孫さんの入学などきっかけはさまざまです。何人かの方に少しお話を伺いました。

きっかけは～自治会の防犯の責任者で、学校が一番近かった。1年で辞めたら暇つぶしと思われるので、あと1年もう1年・・・と続けているうちに仲間もでき、6年が過ぎました。

楽しみは～子どもたちとハイタッチすると、指1本からピシッと音がするほどの場合ありで、直接触れ合えるのがいい。挨拶は「やまびこ」だから。

これから寒い季節に入ります。体につけて見守りをお願いします。



図書ボランティア“こんぺいとうの会”

代表 永盛 千春

私たちの会は、校内の2つの図書室（ブックランド松ぼっくり、ブックランド松の木）を中心に活動させていただいております。

発足より16年目をむかえ、在校児童の保護者約50名と今年度よりサポーター制度を導入させていただき、卒業生の保護者約10名の方に登録させていただいております。



【業間おはなし会の様子】

図書室の壁面飾りや季節に合わせた室内の飾りつけ本の修理などを、司書の先生と相談させていただきながら行ったり、朝自習の時間を利用してのクラスごとでの読み語りや授業協力、業間おはなし会を通して、子どもたちの輝く笑顔を見ながら、日々楽しく活動させていただいております。

児童の皆さんが、よりいっそう本を好きになってくれるように、楽しい本を読ませていただいたり、図書室のより良い環境づくりをお手伝いさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

チャレンジスクール

～元気な声がひびいて～

6月から始まったチャレンジスクールも、もう後半にさしかかってきました。

金曜放課後は自由遊びで、自主的にのびのびと遊び、体力作りと学年をまたがったの交流を目指しています。

受付でもじもじしていた児童も、もう堂々とクラスと名前が言えるようになりました。よその人に注意されてびっくりしていたのに、素直に聞けるようになりました。逆上がりができるようになって喜んでいる子どももいます。



【英語で母国のお話を聞きました】



【一輪車も上手になりました】

土曜日は、毎回自習時間と課題に取り組む時間、体育館での運動を組み込んでいます。

たとえば課題「英語で遊ぼう」では、ネイティブ講師のお国の話や遊びを楽しみました。

「運動会」ではグループ対抗で競い、手作りメダルで金銀銅の表彰式も行いました。

実行委員は子どもたちの成長と笑顔を楽しみに計画を立てています。

さあ、次はどんな反応を示してくれるかしらとわくわくしながら。

お遊びひろば

～昔あそびをたのしんで～

毎年夏休みは、社会福祉協議会（＝社協）主催で世代間交流を行っています。

8月17日、担当の20名近くの方々は、朝早くから準備に余念がありませんでした。さらに、大砂土中学校からも校長先生と先生方、応募で参加の生徒たちも加わり、100名近い児童に昔遊びを熱心に指導していただきました。

【紙風船づくり】



二重に貼り合わせた薄紙を折って・・・折り紙とはひと味違う感触を楽しみました

【割りばしてっぽう】



中学生や社協の方、6年生に教えてもらいながら

武藤会長の開会の挨拶の中に「昔遊びは、自分の頭で考え、工夫するからおもしろい」という言葉がありました。

確かに、割りばし鉄砲の達人？は自分なりの工夫で図面より少しずらしてゴムをつけることで、ほかの児童より遠くに飛ばしていました。さらに嬉しいことに、できない子に優しく教えてくれていました。

「来年もまたいろいろ考えて、子どもたちに楽しんでもらえるようにしますよ」と担当の谷口さん。

社協、大砂土中学校のみなさま、暑い中本当にありがとうございました。

【ぶんぶんゴマ】



お母さんといっしょに

《編集後記》

ひだまりが恋しい季節になりました。今年も余すところ1ヶ月。子どもたちの1年の成長はすさまじいものです。それを見守っていけることに感謝を感じるこのごろです。また、地域の方々のお陰で子どもたちの安全、安心が守られていると実感させられています。そして地域で子どもたちを育てていこうという情熱がいっぱいです。

まだまだご紹介できなかった応援団がたくさんありますが、今回は割愛させていただくことをお許しください。



～問い合わせ先～ 【学校応援団事務局】大砂土東小学校 048-684-8003
学校地域連携コーディネーター 北村 喜美子